

令和3年度

第2回災害発生時の 市町村の対応

近年、激甚化、頻発化している災害に対応するため、市町村の防災担当等職員は、危機管理能力の更なる強化を図ることが重要となります。

今回の研修は、事例や演習を通じ、災害時の初動対応から復旧・復興に至るまで、トップの的確な判断をサポートするために必要な知識やノウハウを習得し、可能な限り迅速かつ円滑に対応することができる能力の養成を目指します。

研修の ポイント

- 災害時対応にかかる制度的な枠組みを理解する。
- 災害対策本部の円滑な運営方法や受援体制の整備を学ぶ。
- 情報収集や情報発信について学ぶ。
- 警報の種類や避難指示の発令について考える。
- 実際の市町村の対応から課題と成果を学ぶ。
- 災害時に行政が対応すべき業務全般を円滑に進めるための実践力を養う。

開催要領

日 程

令和4年1月17日(月)～1月21日(金)(5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市町村の防災担当等の職員

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

17,450円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年11月26日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

1月
17日(月)

11:00~入寮受付・昼食

12:30~開講・オリエンテーション

13:00~14:55 **講義** 新しい時代の防災を考える

東京大学大学院 情報学環 特任教授 田中 淳 氏

近年、頻発化している大規模災害に備え、強化しておくべきことなど、これからの防災のあり方についてお話しいただきます。

15:10~17:00 **講義** 防災行政の全体像

総務省 自治行政局 公務員部 公務員課 応援派遣室長 瀧川 聡史 氏
総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課 災害対策専門官 中村 徹 氏

災害法制等に関する国の最新状況、災害時における地方自治体の役割、応急対策職員派遣制度の活用など防災行政の全体像についてお話しいただきます。

17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35 **講義** 風水害等における警報と避難

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 技師専門官 調子 二郎 氏

実際の事例を用いながら、気象情報の種類やタイミング、対策本部等での活用の仕方など詳細について、解説していただきます。

10:50~12:00

講義 災害発生時の初動期対応と自治体支援について~テックフォースの活動を中心に~

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害対策室 防災企画係長 山本 英利 氏

大規模自然災害への備えとして、迅速に支援が行えるよう創設されたテックフォースの活動を中心に災害発生時の対応と支援について紹介していただきます。

13:00~14:30 **講義・意見交換** 大規模災害に備えて~これまでの水害などを教訓とした現場での対応~

(一財)河川情報センター 研究顧問 越智 繁雄 氏

大規模自然災害が発生した際、市町村は現場でどのように対応すべきか、これまでのご経験に基づいたお話をしていただきます。また、講義の後半では、講師と受講者で意見交換等をしていただくことにより、今後の大規模災害に備えた対応策について検討します。

14:45~17:20 **事例紹介** 被災後の住民対応~生活再建支援業務~

長野県 長野市 企画政策部 復興局 局長 兼 復興推進課 課長 小池 啓道 氏
上下水道局 主幹 兼 営業課 課長補佐 徳武 清実 氏
環境部 主幹 兼 環境保全温暖化対策課 課長補佐 山口 泰弘 氏
建設部 住宅課 主査 宮下 健 氏

令和元年東日本台風(令和元年台風19号)での大規模な豪雨災害があった長野県長野市。早急な対応が求められる被災者の把握、被害調査、罹災証明書の発行、そして仮設住宅の建設等、どのように対応されたのか、具体的にお話しいただきます。

「災害対策本部の運営」、「まとめ」は、(一財)消防防災科学センター 研究開発部長兼統括研究員 黒田 洋司 氏にご指導いただきます。

9:25~12:00

演習 災害対策本部の運営~図上シミュレーション訓練に向けて~

災害発生後の災害対策本部の実際についてお話しいただきます。その後、午後の「図上シミュレーション訓練」に向けて概要を説明していただきます。

13:00~15:35

演習 災害対策本部の運営~図上シミュレーション訓練~

図上シミュレーション訓練により、災害発生直後の災害対策本部の状況を疑似体験し、災害時の対応能力向上を目指します。

15:50~17:00

講義 まとめ 演習をふりかえり、対策本部の運営について総括していただきます。

9:00~10:35 **講義** 災害発生時の市町村の役割

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏

災害発生時、市町村職員はどのような役割を果たすべきか、他の市町村をはじめとする様々な団体との連携を中心に話しいただきます。

「事例紹介」、「質疑応答／意見交換」は、阪本 真由美 氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

10:50~12:00 **事例紹介** 災害支援の実際~避難所運営を中心に~

(一社)ピースポート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 氏

これまで全国各地の被災地で様々な災害支援や避難所運営などに携わってきた立場から、災害時に市町村がやるべきことや配慮・工夫点などをお話しいただきます。

13:00~14:10 **事例紹介** 地震災害における対応~受援体制を中心に~

熊本県 熊本市 主幹 大塚 和典 氏

平成28年熊本地震時の状況をふりかえり、特に、人的・物的支援を受入れることの難しさ、被災経験をもとに整備された受援体制、計画についてご紹介いただきます。

14:25~15:35 **質疑応答／意見交換**

(一社)ピースポート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 氏
熊本県 熊本市 主幹 大塚 和典 氏

事例紹介でお話しいただいた両氏との意見交換、質疑応答により、市町村の災害対応について、更に理解を深めます。

15:50~17:00 **演習** グループ討議

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏

これまでの学びを整理し、受講者間で討議しながら、災害対応時に生じる課題とその解決策について考えます。

9:25~14:10 **演習** 発表・質疑応答・講評

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏

グループで討議した内容について発表、講師から講評いただきます。その後、研修全体のふりかえりを行います。

14:10~14:40 **研修アンケート記入、閉講**

令和4年

1月
20日(木)

令和4年

1月
21日(金)